

## 最後の入学式



秋田県立能代西高等学校としては最後の入学式が4月7日に挙行されました。今年度入学したのは男子26名、女子39名の計65名。

厳かな雰囲気の中執り行われた最後の入学式でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、新入生とその保護者、教職員・在校生代表者（生徒会長3年A組山田康太郎さん）のみが参加した入学式。

新入生を代表して、1年A組の大倉聡生さんが「誓いの言葉」を述べ、65名の新入生たちが能代西高校の仲間となり、上級生（3年生61名、2年生52名）と併せて178名による最後の能代西高校の学校生活がスタートしました。



生徒会長 山田康太郎さん



「誓いの言葉」を述べる大倉聡生さん



山谷 幸一 氏書（昭和36年卒）

## 生徒たちとの全校田植えを楽しみに

西高農場も春の農繁期に突入。安全・安心な様々な農作物の栽培方法について、実技を通して学んでいきます。

しかし、コロナ禍の影響により生徒たちが休校中。教職員会議で水稻播種作業の手伝いを依頼したところ、有志14名が引き受けてくれました。

令和2年産は約650枚（2.4ha）分を播種しました。そのうち、密苗栽培用60aと、今年度は新たに酒米栽培（60a）にも取り組みます。

小松育実教諭は「人生初の播種作業体験でした。苗箱を育苗ハウスに並べる作業はなかなかの重労働で翌日筋肉痛になりました。水稻苗には順調に生育してもらい、学校に生徒たちが戻ってきた時には、能代西高校としては最後となる、恒例の全校田植えや、稲刈りなどがいつも通り行われることを今はただ願うだけです。」と、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願い話してくれました。

